

### 国民健康保険高額療養費

#### 自己負担限度引き上げ

高額療養費の自己負担限度額が次のように変わります。(世帯合算及び長期療養については現行どおりです。実施時期は、国の平成元年度予算成立後。)

◎**高額療養費**

一人の人が、一カ月(暦の上での一日から末日まで)、一つの病院・診療所に五万七千円(住民税非課税世帯は三万一千八百円)を支払った場合、五万七千円(住民税非課税世帯は三万一千八百円)を超える額は、全額国保から払い戻さ

れます。現行は五万四千円(住民税課税世帯は三万円)

◎**多数該当**

一つの世帯で、高額療養費に該当する医療費を、年四回以上支払った場合、四回目以降からは三万三千円(住民税非課税世帯は二万二千二百円)を超えた額は、全額国保から払い戻されます。現行は三万円(住民税非課税世帯は二万一千円) ※尚、詳しい事を知りたい方は住民課保健衛生係(内線17番)へお問い合わせ下さい。

### パスポートの交付が受けられます

旅券発給件数の急増に伴い、住民サービスの向上を図るため、下記のとおり長岡総合庁舎内に「券窓口」が開設されました。

#### 役場人事

四月一日付で次のとおり

券発給手続は左記へお出かけください。  
長岡市四郎丸町一七三一二  
総合庁舎内一階  
旅券センター  
(☎三八二五二五)

り、役場職員の異動・退職等がありました。

▽昇任・異動 ■総務課参事 兼庶務・財政係長棚橋均(総務課庶務・財政係長) ■建設課参事兼土木係長難波正(建設課土木係長) ■税務課賦課徴収係長小熊静子(税務課主査) ■住民課福祉係長関シズエ(住民課主査)

■産業課主事小林茂(税務課) ■教育委員会主事野島健司(産業課) ■税務課主事補松澤賢二(教育委員会) ▽採用 ■総務課主事矢川睦 ▽退職 ■古井丸保雄(建設課)

### 編集後記

▼広報みしまの編集を四月号から企画調整課で行うことになりました。

町の動き、行政からのお知らせ等、みなさんにわかりやすくお知らせするよう努力いたします。

そして、みなさんからも紙面の中で、参加、活躍していただける編集をしたいと考えておりますので、ご意見、ご協力をお願いいたします。

### 俳句

春なれや握手は荒れし手を脱ぎず  
雪圃い解けば青空守門まで  
手のひらのやさしくなりて水温む  
啓蟄や気ままの老も旅心  
締め切れぬ蛇口の水や春浅し  
雑草にたんばば一つ混じりをり  
薫灰を替へて団爐裏の若返へり  
春の緑鉛筆うまく削れぬ子  
雪解水テトラポットの頭を浸し  
花あしび跳び石ぬらす雨降りだす  
薄闇に風吹くままの沈丁花  
黄梅や寺に開基の秘仏あり  
子の継がぬ農一筋の種浸す  
とびとびに甘草の芽や野の広き  
卒業式親似の顔の並びをり

丸山 義広  
名塚 清一  
原 峰子  
尾竹 花翠  
大滝 菁風  
難波 千代女  
安達 南風  
遠藤 枯骨  
小林 雪子  
木戸 恵津  
小林 礼子  
中村 遊雲  
遠藤 素木  
棚橋 比呂志  
小林 宏

今月の納税

- \* 国定資産税第一期分
- \* 国民健康保険税
- \* ガス料金\*水道料金
- \* 国民年金保険料

## 「よく見たね 車こないね 渡れるね」

春を待った新入学生・園児たちは、心がうきうきしています。

そこでお父さん、お母さんにお願います。

子供の交通事故で圧倒的に多い原因は、「飛びだし」です。

親が手本を示し、交通规则とマナーを子供に教えて下さい。

子供が外出するときは、

家族の人が交通安全について一声かけてください。

◆**今月の重点目標**

\*子供と高齢者の交通事故防止

\*若者運転者による無謀運転防止

\*正しいシートベルトの着用の徹底

### 季節風

「みやこわすれの花」ってご存知ですか、この花は別名「野春菊」と言って山野に自生する青紫色の花ですが、その昔、順徳天皇が佐渡に流されていた時、庭先に咲く可憐なこの花を見て、こんなに美しい花がこの地にあるなら、もう都のことなど忘れられる、と言ったことに由来してこの名がつけられたそうです。

今の社会は経済、情報も東京への一極中型の大きな流れの中で、ともすると、この「みやこ忘れの花」も消えてしまう危険性が年ごと増してくるような気がします。

地方にしかない文化、地方だから出来る産業、地方だから味わえるやすらぎ……こんな素晴らしいふるさとが創生できたら……。

「みやこわすれの花」もより美しく咲き、地方と都市の媒体となってくれるのではないのでしょうか。

### 町のすがた

(4月1日現在)

人口 男 3,330人 (0)  
女 3,572人 (+8)  
計 6,902人 (+8)  
世帯数 1,702人 (0)  
( )は3月1との比較

第 253 号

平成元年4月19日  
発行 新潟県三島郡三島町役場  
(0258) (代) 42-2221  
印刷 長岡市 あかつき印刷





# 町長の施政方針

私が町政を担当して初の通年予算であり、改めて、町政に対する責任の重大さを痛感いたしております。私は常に、自然を生きかした健康で明るい豊かな町づくりを町政の基本としております。

この目標に向かって、町民の皆様方のお力添えを得ながら努力いたしております。元号も昭和から平成に変わり大きな節目の年であります。

これを契機といたしまして、大きく飛躍する年になりますよう自身の努力をいたす所存でございます。予算の編成については、編成方針に重点施策を踏えて申し述べておきました。

(記事で紹介)、この平成元年という記念すべき年に庁舎、保健センターが竣工いたしましたことは後世に残る三島町としては、歴史的な事業であると考えております。

そして、多額の投資をいたしました大事業でありましたが幸い消費税が導入される以前にその殆んどが完了することができ、町財政に大きな影響を受けずに竣工できることに、町民共々同慶にたえません。

しかし反面、六十三年度の町債借入予定額三億九千六十万円に対する償還が始まります。

また、新庁舎の管理や下

水道事業への繰入金等を充分踏えたいえで健全財政に配慮しながら、町の財政運営に当たりたいと考えております。

しかし限られた財源の中にあっても、住民生活関連事業につきましては、各大字等からの要望はできるだけ予算編成に配慮いたしております。

元年早々に「ふるさと創生」事業の計画樹立をはじめ、テニスコート及びゲートボール場の建設、教育施設整備基金の造成、そして各学校の補修工事、生活関連事業への財源配分を主体に編成いたしております。

今後町づくりにつきまわしては、その前提となりまわす、農振や都市計画の線引の見直しを平成元年度に先ず取り組み、これと併行して、町の重点施策の基幹と

# 予算 19億3,000万円

(三面につづく)

## 生活関連事業の整備の充実

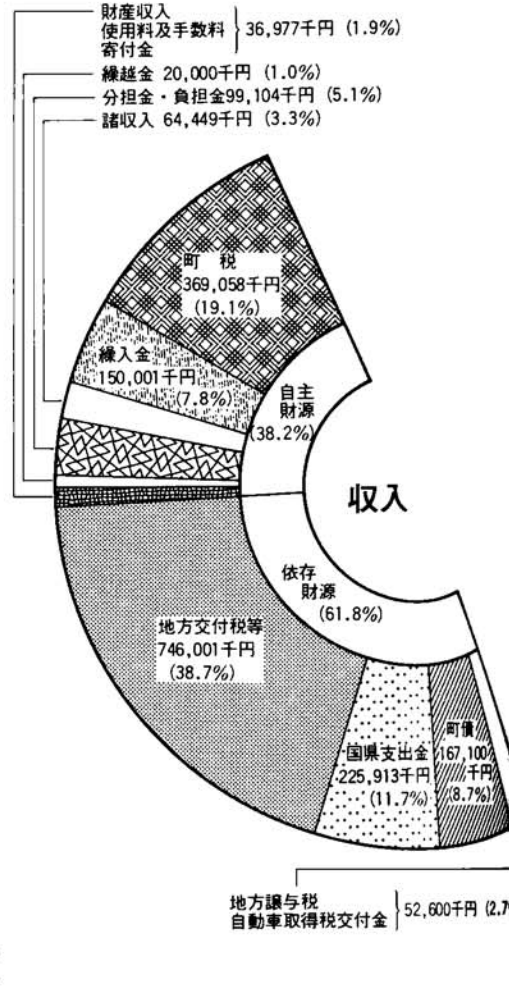
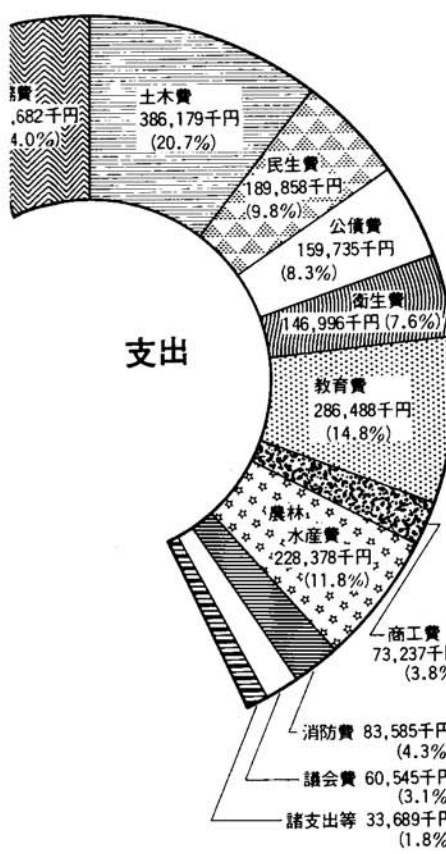
大型の開発事業で圧迫されてきた、各大字からの要望のあった生活環境整備を促進するため、町道の新設改良に一億六千万円、町道融雪工事に一億円を計上し、整備促進を図ります。

また、県道の改良工事等の促進についても積極的に関連機関への働きかけを行ってまいります。

## 福祉・保健の充実

高齢化社会のなかで、高齢者を対象とした福祉の充実が要求されておりますが、町でも福祉協議会との連携をとりながら、在宅福祉の対応として、ねたきり老人の入浴サービス事業、短期保護事業、おむつの貸与事業など利用者の要望を満たす予算であり、また、高齢者の福祉促進事業として、各種の講座を開設し多くの高齢者が参加できる機会をつくります。

保健関係では、保健センターの竣工を機会に、さらに住民の健康を守るため、各種検診の充実を図り、自分の健康は自ら守る、こと



## 教育・スポーツ等の振興

昨年完成したスポーツ広場(野球場)と一体化した整備として、町営グラウンドにナイター付テニスコート四面及びゲートボール場四面を八千六百万円で建設、町民のスポーツ振興を図ります。また建設後十四年を経過した三島中学校の屋上防水工事等に二千百万円

## 産業の振興

これからの農業経営の課題である生産費の低減を図るため、新農業構造改善事業では、山間地の基盤整備事業及び関連施設整備に六千五百万円を計上し、建設促進を図ります。

農村総合モデル事業では、大字鳥越、七日市間の農道整備、大字爪生の農村公園の造成を計画しています。新しい事業として、農業

# 広報みしま

も云うべき第三次総合計画を策定する準備体制に入りたいと考えております。

そして、今後推進して行かなければならない現庁舎や支所の跡地利用、保育行政と各学校の施設整備、農村総合モデル事業の早期実現、今後の町開発計画と、さらには、国道352号線の抜本的改良促進等、長い歳月と多額の財源を必要といたしますが、町民の意向を結集して対応しなければならぬ大事業が殆んどでございます。

これらの事業をひとつひとつ協議の皆さんのご協力と指導をいただきながら推進してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、私は、企業は人なり」と云うことが行政においても同じ事が云えるのではないかと

**国民健康保険特別会計**  
290,400千円

**老人保険特別会計**  
404,715千円

**下水道事業特別会計**  
580,918千円

# 平成元年度 一般会計 19億3,000万円

# 広報みしま

考えております。

住民サービスの向上は職員ひとりひとりの自覚に期待するところが非常に大きい訳であります。

職員を命令によって働かせることよりも、職員自身が自分の与えられた仕事に熱意と誇りをもって職務に専念してくれるような職場づくりに力を入れながら、新庁舎移転後においても、尚一層、住民サービスが徹底するよう一生懸命努力したいと考えております。

以上が新年度に対する所信の一端でございますが、常に住民の生活の安定と繁栄を念頭におきながら微力ではございますが町政に専念する所存でございますので、今後尚一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。して施政方針といたしま

# 予算 19億3,000万円

(三面につづく)

## 生活関連事業の整備の充実

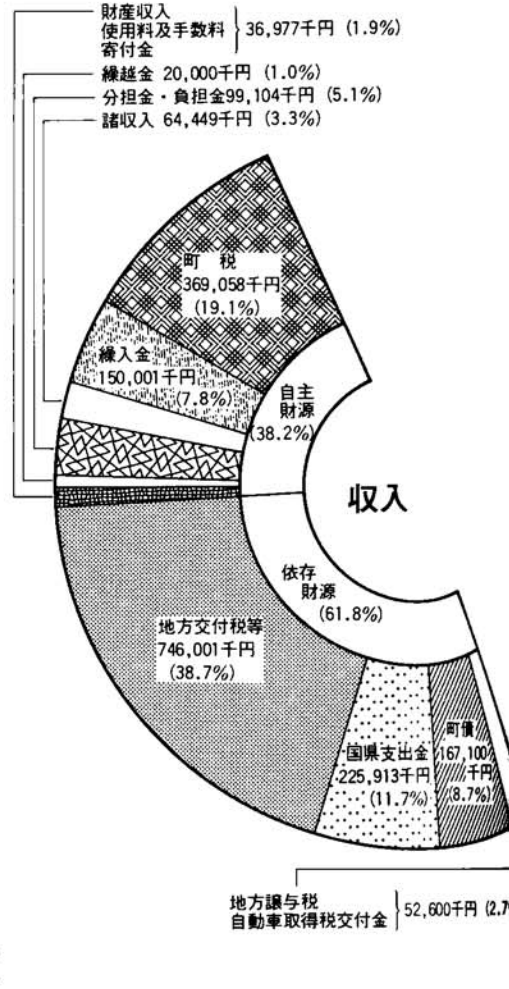
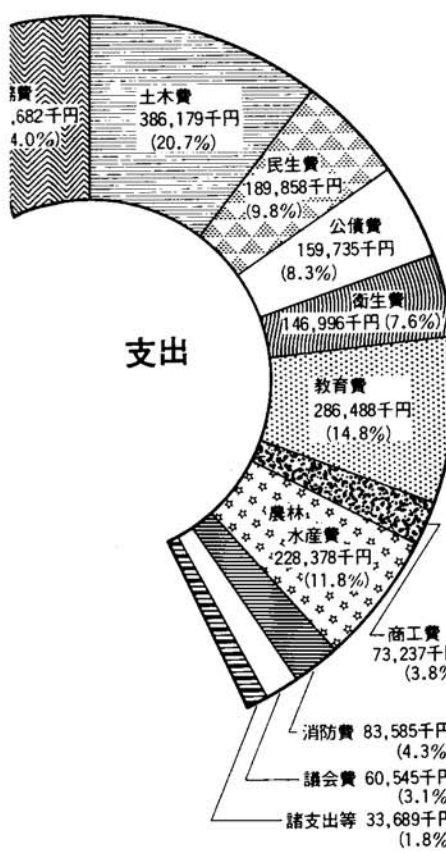
大型の開発事業で圧迫されてきた、各大字からの要望のあった生活環境整備を促進するため、町道の新設改良に一億六千万円、町道融雪工事に一億円を計上し、整備促進を図ります。

また、県道の改良工事等の促進についても積極的に関連機関への働きかけを行ってまいります。

## 福祉・保健の充実

高齢化社会のなかで、高齢者を対象とした福祉の充実が要求されておりますが、町でも福祉協議会との連携をとりながら、在宅福祉の対応として、ねたきり老人の入浴サービス事業、短期保護事業、おむつの貸与事業など利用者の要望を満たす予算であり、また、高齢者の福祉促進事業として、各種の講座を開設し多くの高齢者が参加できる機会をつくります。

保健関係では、保健センターの竣工を機会に、さらに住民の健康を守るため、各種検診の充実を図り、自分の健康は自ら守る、こと



## 教育・スポーツ等の振興

昨年完成したスポーツ広場(野球場)と一体化した整備として、町営グラウンドにナイター付テニスコート四面及びゲートボール場四面を八千六百万円で建設、町民のスポーツ振興を図ります。また建設後十四年を経過した三島中学校の屋上防水工事等に二千百万円

## 産業の振興

これからの農業経営の課題である生産費の低減を図るため、新農業構造改善事業では、山間地の基盤整備事業及び関連施設整備に六千五百万円を計上し、建設促進を図ります。

農村総合モデル事業では、大字鳥越、七日市間の農道整備、大字爪生の農村公園の造成を計画しています。新しい事業として、農業

**国民健康保険特別会計**  
290,400千円

**老人保険特別会計**  
404,715千円

**下水道事業特別会計**  
580,918千円

# 平成元年度 一般会計 19億3,000万円

# 町議会 三月定例会

去る三月八日、平成元年第一回町議会定例会が開催され、会期を十六日間と定めて審議を行い、最終日に提案された、収入役人事を除き、平成元年度一般会計予算及び三つの特別会計予算と、議会議員の報酬及び特別職の職員の給与に関する条例の一部改正などがいずれも原案どおり可決されました。

## 専決処分の承認

◆三島町職員の休日の特例  
特別会計補正予算(第二号)について

## 工事契約の変更

◆三島町役場庁舎・保健センター建設工事、建築本体・外構工事請負契約の変更について

◆三島町役場庁舎・保健センター建設工事、電気設備工事請負契約の変更について

◆三島町役場庁舎・保健センター建設工事、機械設備工事請負契約の変更について

◆公共下水道管渠工事請負契約の変更について二件

◆昭和三十三年度三島町一般会計補正予算(第七号)について

◆昭和三十三年度国民健康保険特別会計補正予算(第三号)について

## 条例関係

◆三島町ふるさと基金条例の制定について

◆三島町印鑑条例の一部を改正する条例について

◆三島町職員の休日休暇に関する条例の一部を改正する条例について

◆三島町職員の勤務時間に関する条例の一部を改正する条例について

◆三島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

◆三島町職員の旅費に関する条例の全部を改正する条例について

◆三島町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

◆三島町税条例の一部を改正する条例について

◆三島町障害者住宅整備資金貸付条例の一部を改正する条例について

用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

◆三島町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の制定について

◆三島町証人等の費用弁償に関する条例の制定について

◆三島町社会教育委員設置条例等の一部を改正する条例について

◆特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

◆三島町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について

◆三島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

◆三島町職員の旅費に関する条例の全部を改正する条例について

◆三島町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

◆三島町税条例の一部を改正する条例について

◆三島町障害者住宅整備資金貸付条例の一部を改正する条例について

る条例について

◆三島町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について

◆三島町分担金徴収条例の一部を改正する条例について

◆三島町下水道条例の制定について

◆三島町保健センター設置及び管理に関する条例の制定について

定について

◆平成元年度三島町一般会計予算について

◆平成元年度三島町国民健康保険特別会計予算について

◆平成元年度三島町老人保健特別会計予算について

◆平成元年度三島町下水道事業特別会計予算について

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

◆町道路線の変更について

◆総務文教委員会陳情審査の報告について(十二月二十日付託、昭和六十三年陳情第四号、日吉小学校校舎改築に関する委員長報告)

## 公民館長に

大滝氏



大滝正見氏

その後町議会が推せんする、三名の委員と農業団体が推せんする二名の委員も決り、四月から三年間を任期とする新しい委員は次のおりです。(順不同、敬称略)

▽公選斎藤敏夫(七日市)、曾根孝次(氣比宮)、羽倉保(新保)、結城権治(鳥越)、稲垣徳司(鳥越)、燕衛(瓜生)、片桐仙一(脇野町)、小熊久米(逆谷)、遠藤孫作(上岩井)、小川金一(蓮花寺)

▽町議会推薦松浦敬三(藤川)、西沢暢雄(大野)、新保蔵男(七日市)

▽農業団体推薦片野四郎(上岩井)、渡辺幸左衛門(下河根川)

六十二年三月元井弘作氏の任期満了による退任後、教育長兼任となっていた公民館長に藤川の大滝正見氏(65)が後任に決り四月一日就任されました。

▼大滝正見氏の略歴

大滝氏は住職の傍ら町の民生委員、社会教育委員など町の福祉事業や社会教育関係の要職を務められた方です。

## 農業委員決まる 会長に斎藤氏再選される

四月十一日、改選後の町農業委員会が開かれ、会長に斎藤敏夫氏(七日市)会長代理に曾根孝次氏(氣比宮)が再選されました。

任期満了による町農業委員のうち公選による十人の委員の選挙は、二月二十一日告示されましたが、立候補者が定数と同等となり、投票を行わないで全員の再選が決まりました。

## ふるさと創生

# 壹億円

## あなたなら どう活かす

いま町では、あなたのアイデアを募集しています。もう投稿されましたか!! 竹下首相が提唱した「ふるさと創生」のために全国の市町村に一律「一億円」が交付されることになりました。

## 「ご提案の投稿はお済みですか!!」

アイデア募集の締切は四月二十二日(土)

アイデア・提案は、ご家庭から、職場から、生徒児童、そして、あなたのグループから、中広く提案を求めています。

提案用紙、返信封筒(料金着払)は、役場、支所・町体育館の窓口で沢山用意いたしておりますので、いつでも多くご提案くださるようお願いいたします。

町では、このとりくみについて「ふるさと創生推進協議会」を設置し、協議をいただき、「ふるさと創生」は、町民みんなで考えよう、と、ひとりでも多くの方々がご家庭、職場、学校等に提案され、収入役人事を除き、平成元年度一般会計予算及び三つの特別会計予算と、議会議員の報酬及び特別職の職員の給与に関する条例の一部改正などがいずれも原案どおり可決されました。

## 「ふるさと創生」推進協議会会長に 小林太左衛門氏

町はふるさと創生事業を推進するため、三島町ふるさと推進協議会を設置し、



青柳消防団長 官賞受賞

町消防団長青柳元一氏は、さる三月六日消防庁長官より永年勤続功労章を受章されました。

青柳団長は二十八年余の永年にわたり、町民の生命財産を守るため活動された、その立派な功績が認められたものです。

副会長に小林一弥氏(脇野町)が選任されました。

委員はつぎのとおりです。(五十音順、敬称略)

- 青柳 孝一(氣比宮)
- 稲田 雄幸(新保)
- 井村 健二(〃)
- 小方 保(鳥越)
- 大滝 ヨシイ(吉崎)
- 片野 本平(上岩井)
- 片野 四郎(〃)
- 片桐 保男(中条)
- 金子 美清(下河根川)
- 近藤 佐太郎(逆谷)
- 斎藤 イト(七日市)
- 斎藤 敏夫(〃)
- 佐藤 才一郎(上岩井)
- 佐藤 甚太(脇野町)
- 佐藤 巧(〃)
- 白浜 守(長岡市)
- 関 充夫(吉崎)
- 関根 義男(藤川)
- 相馬 良平(長岡市)
- 田中 政春(藤川)
- 田辺 義寿(蓮花寺)
- 難波 昇一(脇野町)
- 野島 六司(上条)
- 原田 良一(鳥越)
- 松浦 伊智郎(藤川)
- 水谷 軍司(東京都)
- 山田 英一(鳥越)
- 渡辺 謙策(脇野町)

## 「しゃぼん玉」の歌

三島中学校 寺島 英司

この童謡は野口雨情作詞中山晋平作曲の作品です。大正から昭和にかけてゴールデンコンビと言われ、特に童謡の分野に於ては不滅の秀れた作品をたくさん残しています。この「しゃぼん玉」の歌は雨情の若い頃の作品で当時「金の舟」という出版社から童謡の原稿を依頼されて、

# 心の窓

そんな中で原稿の締切りの期限が迫ってくる。その締切りの前日に愛児雅夫は短かい人生を閉じてしまいました。そんな悲しい、切ない親としてどうすることも出来ない中であって、頼まれた仕事をやり遂げようとしたのが「しゃぼん玉」という歌です。無邪気で無心に遊んでいるわが子・大きくならうとしていくわが子の命をしゃぼん玉にたとえて作られた詩です。短かい詩の中で「消えた」という言葉が四回も繰り返して出てきます。しゃぼん玉は口の光を浴びて輝く時、本来の美しさが出るので

すか、雨情のしゃぼん玉は決して屋根の上で輝かず軒先にあたってかなしく消えてしまふのです。音譜を見ると「屋根までとんで」の「まで」が「ラ」の音で、番高く歌うようにならなっています。独り歩きできるようになってようやくこれから人間として楽しみもあれば哀しみもある生活に入っていくはずの幼い子が、そこまで行かずに、屋根にあたって消えるしゃぼん玉のようにはかなく消えていってしまうことが「屋根まで」消えた」という繰り返しの表われています。楽しいしゃぼん玉遊びのこの歌もこう調べてみますと、見せ掛向きのつまらないように見えた詩が、実は深い意味のあることに気づきます。童謡が静かなブームになっています。私もうれしく思っています。人です。由紀さおりさんのあまくソフトな歌声はなんとも心地よく感じます。「赤トンボ」「月の砂漠」「里の秋」「あの町この町」...どの曲もなつかしくすんなりと遠い昔に帰ったような心安まる音楽です。時代と共に価値観も変わり、人の心もうつろう昨今、素朴な童謡を聞くたびに心が洗われ、まるで母親のふところに抱かれたようなぬくもりを感じます。

